

# はづ

No.30

羽津地区市民センター  
羽津地区社会福祉協議会

平成7年10月25日



歌  
おま  
踊  
音頭  
3  
ま  
い  
め



登場

羽津の人

# 和の心を大切に！

羽津地区連合自治会会長

森 安 吉さん



「ケーブルテレビジョン四日市の各戸無償有線化が、一番の大きな仕事であった。中部電力を始め関係企業の因果関係と負担金という問題を、再三の難交渉の末に解決した結果だけに、感慨ひとしおだった」

今までで一番印象に残った事は？との間に、開口一番このような答えが返った。

電波障害に悩む、羽津地区であっただけに、なよりの朗報であった。

今後の問題として「JRの操車ヤードと四日市ドーム建設と言う、大きな課題があるが、緩衝緑地帯の設置と、双方関連の道路アクセスが問題になるだろう」と次の仕事への意欲を燃やしている。また「ドーム完成時には、地元羽津と

### 略歴

四日市市議会議員

(四期十六年)

第五十三代四日市市議会議長

を経て

平成元年より

羽津地区連合自治会会長

羽津地区社会福祉協議会会長

別名第四自治会会長

保護司

志氏神社責任総代

現在に至る

して何らかのイベントが開催できれば……」と夢を語る。

現在の社会福祉協議会の組織について、「昨年度から発足した事業部制は、地区の活性化に非常にプラスになった」と評価。

新婦人会についても「災害時には、互助の精神で被害を最少限に食い止めるため皆様のご協力をお願いしたい。原則として各戸一人の入会を」と呼びかける。

敬老会は、会場の設営、参加時の送迎、内容、世話をする人等々の問題がクリア出来れば、お年寄りをお招きして真心のこもった行事を検討したい……とも。

いろいろ語って、森さんの好きな言葉「和」をモットーに、お忙しい中、趣味の「真多呂人形」を作り、庭いじりと読書を楽しむ、大正の青年を感じた。

今後も、羽津地区発展のため、ご活躍とご健康をお祈り致します。

## 地域社会づくり事業

# はーと舞タウン 羽津

羽津地区地域社会づくり推進委員会

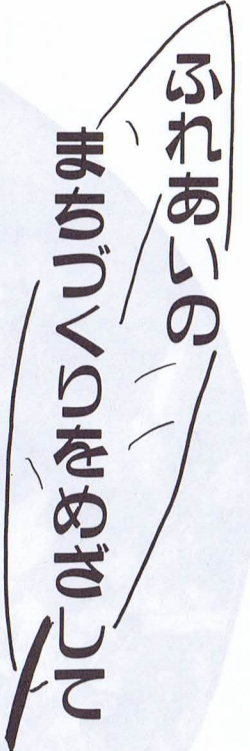
## 入出に湧いた 盆踊り大会

地域の連帯と活性化を目標に、毎年、地区の各種団体の協力のもと、地域社会づくり事業を実施しています。本年度の活動目標として、ふれあいと健康づくりを計画しました。

まず、ふれあい事業として前年度に復活発表した「羽津音頭」の普及と定着を図るため、毎年開催されている「盆踊り大会」に併せて盛大なふれあい夏まつりの形式をとることにしました。

また、健康づくり事業として、「マラソンソフトボール」と「ウォークラリー」大会を開催して、老若男女多数の参加を呼びかける

平成七年度羽津地域社会づくり事業のついで



ことにしました。

さらに、環境美化運動を進展し、この三本柱を基本に事業を推進する予定です。

- (1)「歌おまいか踊ろまいか羽津音頭」をテーマにした地域づくり。
- (2)「マラソンソフトボール」と「ウォークラリー」で健康づくり。
- (3)「花一ぱい運動」の環境美化運動。

の三事業を実施することにより、明るいまちづくりを推進することになりました。

地区の皆さんの格別のご協力をお願いします。

地域社会づくり事業の一環として開催した今年の盆踊り大会。八月十四・十五の両日、羽津小学校は、今までにない賑わいでした。

第一日目の参加者に配ったうちわと手ぬぐい各一、〇〇〇本が、品切れになる程の盛況ぶり。地区の各団体による模擬店の前にはたくさんの人たちが列をつくりました。

体育振興協議会の手馴れたみたらしの店、ボランティアグループ



盛りあがったビンゴゲーム どうだった？ うまく並んだ？

と八田町の田中さんの全面協力による本職の味の焼きそばとお好み焼も好評。また、スポーツ少年団のフランクフルト、民生委員のピール・ジュース、PTAのアイスクリームや、綿菓子に悪戦苦闘の青少年育成協議会の皆さんが印象的でした。いずれのテントも列をなす盛況で売切れ続出でした。ご協力いただいた各団体の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

盆踊りでは、和太鼓・民謡・民謡の各サークルの皆さんが総出で参加していただき、「羽津音頭」を

はじめ炭坑節や河内音頭など、櫓の回りを幾重にも取り巻く踊り手で大いに盛りあがりました。

二日目は、ビンゴゲームに黒山の人だかりとなり、豪華賞品に湧きました。盆踊りコンクールで、ユニークな踊りを披露した十五名にそれぞれ商品を渡しました。

今年は両日も天候に恵まれ、今までにない盛況裡に終了することができました。地区の皆様のご協力の賜であり、初期の目的を十分に果たした感があります。

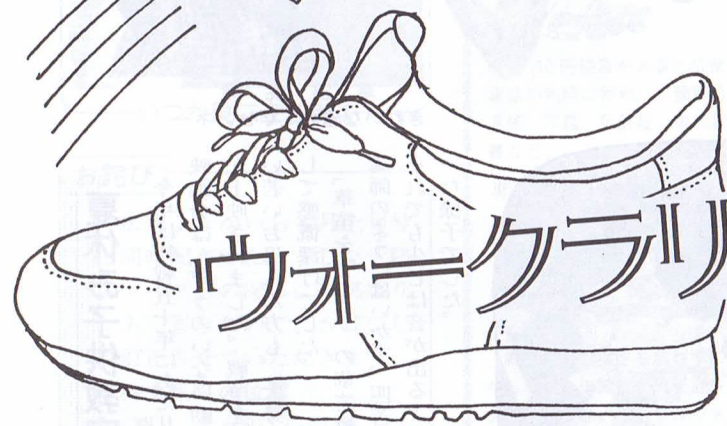
# はーと舞タウン 羽津

12月3日(日)

ウォークラリー 予定

歩いてみよう

はづのまち





### 長寿万歳!



七十歳以上の  
お年寄りに  
敬老祝品を贈呈

敬老の日にあたり、九月一日現在、羽津地区にお住いの七十歳以上の男・女計一、〇一九名の皆さんに敬老祝品を贈ることになり、ボランティアグループや民生委員の協力を得て、記念品の選定や名簿作成などの作業をすすめました。

- 記念品は、既に各町自治会長さんを通じて該当者の皆さんの手元に届いていきます。
- 健康で安心して暮らせるように、地区住民の一層の努力が期待されます。
- なお、本年度の羽津地区の長寿ベスト10は次の方々です。
- ① 味香 啓次様(97)大宮町
  - ② 森 里子様(97)別名一丁目
  - ③ 森 ミツエ様(97)八田一丁目
  - ④ 島田 政吉様(96)別名一丁目
  - ⑤ 伊藤 弥一様(96)別名四丁目
  - ⑥ 清水 太吉様(95)別名一丁目
  - ⑦ 森井まさる様(95)羽津山町
  - ⑧ 森 その様(95)城山町
  - ⑨ 森 さま様(95)羽津町
  - ⑩ 後藤よしの様(94)八田一丁目
- 次点 藤井 とお様(94)城山町

# 地区のあれ



## 防災訓練

### 大地震

いつ、この地域にも!

八月二十七日、まだ残暑の残る八月最後の日曜日、羽津小学校で防災訓練が行われました。

あの、阪神大震災は、半年たってもまだまだ生々しく、全員が汗だく、いつになく真剣な防災訓練でした。

# 行事これ

羽津音頭



ひと回り広くなった櫓の上で

### 人手不足

ながら 青年団

七月三十日「あんどんはり」、今年も盆踊りの季節がやってきた。朝から数名の青年団で「あんどんはり」が始まった。一つ一つ昨年の絵をはがして、汗がにじみ込まないよう注意しながら、今年の絵をはっていく。



みんなで歌おまい 踊ろまい

れになりながら作業が行なわれ、一日がかりで大きな櫓が出来た。同時に、飾りや音響機器など数々の備品が会場に運ばれ、下準備が行われた。

## 防災訓練



いつか役に立ちます

### 準備しておきたい非常持ち出し品

<b>貴重品</b>  現金(10円硬貨があると公衆電話の利用に便利)、預貯金通帳、印鑑、免許証、権利証書など。	<b>トランジスタラジオ</b>  予備電池は多めに用意。	<b>懐中電灯</b>  できれば一人に一つ。(予備電池も忘れずに)	<b>応急医薬品</b>  絆創膏、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤など。
<b>非常食品</b>  (缶切り、栓抜きも忘れずに)かんパン、缶詰など火を通さなくても食べられる物。ミネラルウォーター、水筒、紙皿、紙コップ、ナイフなど。	<b>衣類など</b>  下着、上着などの衣類。タオル、ティッシュ、合羽、ヘルメット、マッチやライターなど。	<b>食料と水は 3日分必要</b> 大災害が起きると、救援活動が本格化するまで3日かかるといわれています。各自で3日分の食料と水を用意しておきましょう。	

### お詫び

広報よっかいち8月上旬号と同時配布いたしました「防災マップ」の記事に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

梅本医院の位置  
(誤) 大宮町12-1  
(正) 羽津中2丁目2-9

### 「かわいい手作り人形」

ボランティアふれあいの会

「温かな、心のこもった贈り物がしたい。」日頃寝たきりの、不自由な生活を過してみえる老人の方々に、少しでも心をなごませていただけたい。そんな思いを込めて、手ぎわりの良いタオルでかわいい犬を作りました。

四月二十六日、ボランティアふれあいの会員は民生委員さんと共に、寝たきり老人の方々を訪問された。



かわいいでしょ

### 草笛挑戦

きれいな音色、でないネー

今年に終戦五十年にあたり、子供映画会は「ぞうのいない動物園」が上映されました。戦争を知らない若いお母さん方も、大勢が鑑賞して感慨深げでした。

「草笛を吹こう」の草笛教室は、講師のようにはいかず、四苦八苦!それでも少しは音が出るようになった様子でした。

### 夏休み子供教室



# JR西日本大会

## “優勝”

羽津北野球少年団

勝った。また勝った。ついに最終日(五日目)まで残ってしまっただ。「こうなったら優勝だ！」が本当になっちゃった。

八月二十日から大阪日生球場など八会場八十チームでくりひろげられたJR西日本大会。監督はじめ、だれもが一つか二つ勝てば上出来と思っていました。初日の開会式に出られただけで「大阪まで来たかいいあった」とみんなが思っていました。

暑い大阪で選手十五人が本当によく頑張った。練習の成果を十分に発揮しました。とくに準決勝では、最終回二点差ツーアウトからの逆

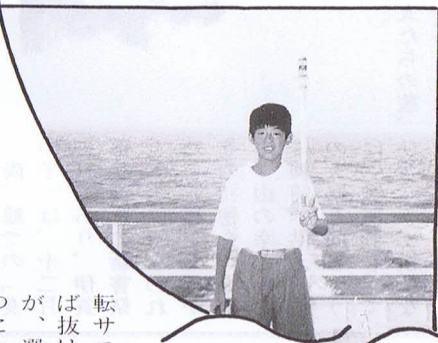


がんばったね

### 初めての船旅

羽津小学校  
六年 柴田 光輝

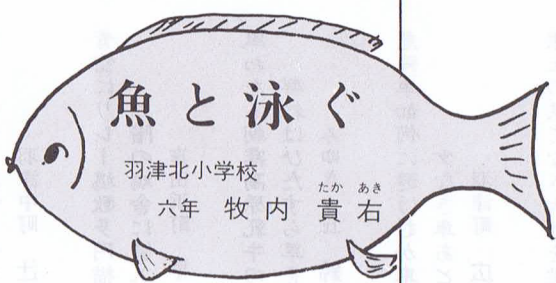
ぼくは、八月八、九日、中日海洋エクスカージョンに参加した。これは、「ふじ丸」という豪華客船で、名古屋から東京まで行く、とっても楽しい船旅だった。まず、デッキで、手旗信号の練習をし、船の中を探検した。夕食後、ホールでビンゴゲームをしたり、外に出て、星空観察をした。いろいろな星座が見えたけれど、月の光に照らされている海がとてもきれいだった。友達ができるか心配だったが、県外の人とも仲良くなれた。



て、文通もできるようになった。この二日間で、ぼくは家ではできない貴重な体験ができた。この思い出は、一生忘れないと思う。

転サヨナラ勝ち。小柄で誰一人ずば抜けた選手のないチームですが、選手、指導者、保護者がひとつになった最高の結果だと思えます。

また多くの方からの応援、ご支援をいただきありがとうございます。



## 魚と泳ぐ

羽津北小学校  
六年 牧内 貴

八月十四日にお父さん、お母さん、同級生のつよし君、よしまさ君たちと、みんなで多度の川へ遊びに行きました。川の水は、とても冷たかったです。魚がたくさん

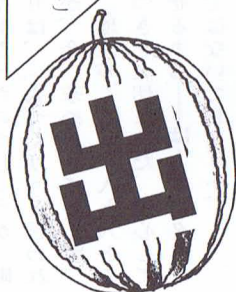
川の水は、とてもきれいで、魚もたくさんいます。川では泳いだり、魚を追いかけて遊んでいました。そんな体験を、ぼくは詩で表現しました。

川  
川の水は、とてもきれいで、魚もたくさんいます。川では泳いだり、魚を追いかけて遊んでいました。そんな体験を、ぼくは詩で表現しました。

## 驚き！中国

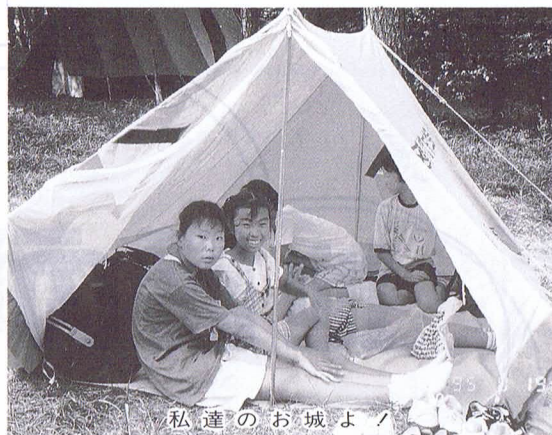
羽津中学校  
二年 前田 真希

私は今年、四日市市と天津市が友好都市提携を結んで十五周年というところで、中国に行かせていただきました。その中で、私が一番驚いた事は、ホームステイ先のシャワーとトイレが、一緒になっていることです。なんと、水洗トイレの上に鉄板をひいて、シャワーを浴びるのです。日本では、考えられないことだなあと、思いました。湯ぶねにゆったりとつかって、「フー、気持ちいい」というのは、やっぱり日本人だけなのでしょうかね！私は訪中団に参加して、とても貴重な体験を得ることができました。この七日間、本当に勉強になりました。

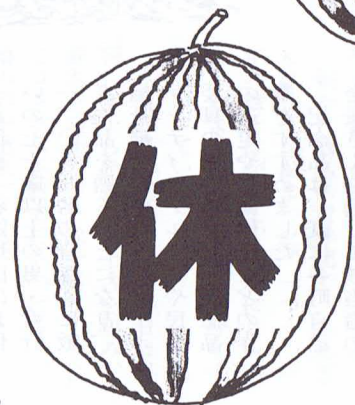


## 野外キャンプ

青少協



「校庭キャンプでなくて、自然の中でキャンプをしたい」。そんな子供達の要望を、実現出来たらと、今年も鈴鹿青少年の森でキャンプ



をしました。日程がスポーツ少年団の行事と重なったため、参加者が例年より少なく、楽しみにしていた子供達には残念な思いをさせてしまいました。バス二台を連ね、お天気にも恵まれたので石山観音公園へ行きました。石仏の数を数えながら汗をふきふき山登りも楽しみました。鈴鹿青少年の森では、育成者の方々が子供達と一諸に楽しい遊びをしたり、テントの張り方、飯ごうでのごはんの炊き方を指導していただきました。キャンプファイヤーの火が消えるまで、共に楽しい一日を過ごしました。下見の段階から、点検準備、そして当日と羽津小、羽津北小の先生方や育成会役員の方々に大変お世話になり、ご協力いただきました。した事をお礼申し上げます。

## 一生の思い出

スポーツ少年団  
サッカー

ぼく達三人は、七月三十一日から八月五日まで全日本少年サッカー大会に出場のため読売ランドへいった。

ぼく達は、三重県代表から「みんなの分もガンバルぞ」。チームのみんながそう思った。



## 球技大会

四日市中央大会で優勝

おめでとう

ドッジボール

八田女子チーム

限られた場所で、時間に追われる中での練習も充分ではなかった

試合が始まった。ぼく達は力いっぱいプレーした。「四日市ファイト！」お父さん達が応援した。羽津チームの監督も来てくれた。結果は三敗二引き分けて、どの試合もあと少しのところまで勝てなかった。とてもよくやった。でも、精一ばいがんばってみんなとサッカーを楽しんだから、よかったし、他のチームの人達と友達になつてTシャツの交換もした。

ぼく達はサッカーで良い経験をしたと思う。これからも試合に勝てるようがんばります。

箱田 智彦  
樋口 弘樹  
柴田 光輝



さわやかな笑顔



ファイト！



# 羽津のむかし

## 第2集から「亥の子」

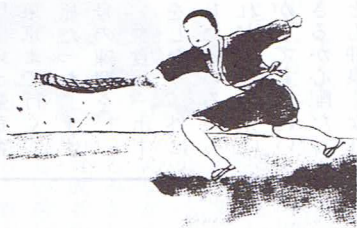


十一月二十三日。この日は、羽津における三大祭の最後の祭りとしての「新嘗祭」が神社で行なわれた。だが、この祭りには神社の関係者が参列するだけで、一般のものには殆んど関係がなかった。従って、字毎の幟りなども立てることはなかった。そもそも、一般の百姓たちはこれを「新嘗祭」とはいわず、もっぱら「亥の子」と呼んでいた。

秋の収穫祭であり、神社ではその年にとれた稲の初穂を神に献げて豊作を感謝する式が行なわれた。

各家では、仕事を休んで、ぼた餅をつくり、あるいは塩飯を炊き、この日を祝ったのであり、学校も休みであった。そして夕方、男子たちが集まり、細縄でしばった藁束（これも「亥の子」といった）を手に持って、粃米を干した家々の「カド」の地面をたたいて回った。

その時にうたった歌は、「亥の子



子の晩に重箱ひろて、開けてみたらホカホカまんじゅう、にぎってみたら十兵衛さんの金玉」というものであった。

これを歌いながら、家々の地面をたたいて回り、別名は鶴へ、羽津は八幡のほうへ流れていき、お互いにぶつかったところで喧嘩をしあつたものである。あげくには、富田のほうへも行き、そこで茂福の子供たちと石の投げあいをしたこともあった。

「亥の子」は、全国各地にひろく分布する刈り上げの行事であり、旧暦十月の亥の日に行なわれるのが通例であり、地面をたたくのは収穫の終わった土地の神霊を鎮めまつる意であったといわれている。

尚、鶴での「亥の子」は、十二月二日であり、伊賀留我神社の新嘗祭と一緒にたばかりの初穂を、海の幸、山の幸とともに神前へ供え、他の大祭と同じように、幟屋形を立て、楽人たちの笙、ひちりき、横笛などによる演奏も行なわれた。

夜には、「亥の子」を持った男子たちが、西貝戸、中貝戸、東貝戸にそれぞれ十人ぐらいつつにわかれ各家の「カド」をたたいてまわり、飴玉や一銭程度の祝儀をもらってきたものであった。

### 短歌

#### 羽津野短歌会より

小林 英選

(選者詠)

山みづの煌めくところ花白し  
峡のわさび田みな広からず  
みゆきヶ丘 小林 英

はすの花ピンクの一輪開く朝  
暑さ忘れて話弾みぬ  
鶴町 伊藤 品子

水無月の澄める三日月見せむとて  
孫を負ふ背にそよぐ夕風  
羽津山町 坂倉 俊枝

内孫も外孫もみな受験済み  
五年ぶりに盆に集ひぬ  
筒尾町 村田 千代

#### 王朝文学を楽しむ

(いずれの御時にか、女御・更衣  
あまたさぶらいた  
まひける中に)で  
はじまる源氏物語  
は日本の古典文学  
の代表として、誰  
れ一人知らぬ人が  
いないという物語  
でありながら、非常にむずかしい  
という理由で原文で読まれること  
はめつたにありません。私達「さ

#### サークル紹介

##### 古典文学

##### さわらび会

毎月第二、第四金曜日の午前十時から十二時まで、羽津市民センターの図書室までお越し下さい。



馬齡著の種をおろすとどたてぬ  
ゆふべの雨にほどよくやはし  
富士町 杉本 光子

松の木に蟬の脱け殻残りをり  
いづこに鳴くや今日も炎天  
羽津中町 辻田 玲子

青空にリレー鳩数多円描き  
二階の鳩舎に皆入りゆけり  
富田浜町 早川 澄枝

風わたる朝霧高原乳牛の  
群れはひたすら草を食みある  
みゆきヶ丘 鈴木 落子

急停車如何に避けむか車間距離  
少なき車あとに迫り来  
羽津町 広瀬 敦子

凍土の果てなき大地を眺めつつ  
遠く日本の景色をおもふ  
羽津町 前田素女子

新作の羽津音頭ひびく盆踊り  
三人の孫と輪に入りおどる  
金場町 山本 登

孫つれて習ひしばかりの羽津音頭  
人をまねつつ手足かざせり  
八田町 館 とみ子

つばなの穂白く靡ける河川敷  
サッカー少年の声の飛び散る  
大宮町 加藤 光子

### 編集後記

太平の眠りをさます震度七  
オウム・オウムで  
さらに眠れず

阪神大震災で明けた95 オウム報道の騒々しさが続いています。今年、戦後五十年の節目の年。焼跡からめざした町づくりは、砂上の楼閣だったのでしょいか。町づくりは、「人づくり」と言われますが、今、求められている町づくり、地域づくりは、人と人との結びつきを大切にしたい、安心して暮らせるまち——は——と舞タウンではないでしょうか。

#### 編集委員

- 山本 鉄男・久志本 隆
- 藤井 久子・井上キヨ子
- 森 香英子・森 大介
- 横田いつ子・加藤 洋子
- 久志本忠典・西沢 喜弘
- 田中 逸夫

羽津地区市民センター